



*The Japanese
Society of
Toxicology*

**Vol. 44 No. 6
December 2019**

毒性学ニュース

Toxicology News

一般社団法人日本毒性学会

The Japanese Society of Toxicology

毒性学ニュース Contents

日本毒性学会からのお知らせ

日本毒性学会教育委員会からのお知らせ（第1報）	103
第23回日本毒性学会基礎教育講習会日程	106
第22回日本毒性学会認定トキシコロジスト新規認定者	107
第47回日本毒性学会学術年会のご案内（第3報）	108
医薬品毒性機序研究部会主催 第2回医薬品毒性機序研究会	112
2020年度日本毒性学会特別賞候補者推薦要領	114
2020年度日本毒性学会学会賞候補者推薦要領	115
2020年度日本毒性学会奨励賞候補者推薦要領	115
2020年度日本毒性学会佐藤哲男記念賞（学術貢献賞）候補者推薦要領	116
第46回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について	117

毒性学ニュース索引（44巻）

一般社団法人日本毒性学会の定款および規程類について

日本毒性学会教育委員会からのお知らせ（第1報）

教育委員会の各種事業は下記の要領で実施する予定です。詳細は決まり次第、学会ホームページおよび毒性学ニュースでお知らせします。

なお、学会主催講習会は、トキシコロジーに関する知識（基礎知識）を幅広く学習する基礎教育講習会とトキシコロジストとしての知識をアップデート・ブラッシュアップする生涯教育講習会として位置付けすることを基本方針として開催いたします。

「第23回日本毒性学会基礎教育講習会」

本講習会はトキシコロジストの系統的な基礎教育あるいは再教育を目的としております。また、集中講義によってトキシコロジー全般にわたる理解を深めたうえで、日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験受験にお役立て下さい。3日間の講義を予定しています。例年、8月に開催しておりますが、2020年度は東京オリンピックによる宿泊施設確保の困難が予想されるなど諸般の事情により、3月の開催といたします。通常と異なりますのでご注意ください。講習会資料はダウンロード形式としております。受講者の皆様には2月中旬にダウンロード方法をご案内いたします。

1. 日時

2020年3月2日（月）～4日（水）

2. 会場

星薬科大学 新星館 202/203

3. 募集人数

150名（先着順）

4. 申込

1) 申込期間

2019年12月20日（金）～2020年1月24日（金）

*会場に余裕がある場合に限り当日参加を受け付けますが、できるだけ事前申込をお願いします。

2) 申込方法

当学会ホームページよりお申込下さい。

登録後、5日以内に次項の要領で受講料を納入下さい。

受講料入金の確認後、追って受講案内及び資料をお送りします。

3) 納入方法

ホームページよりお申込の上、下記銀行口座へお振込み下さい。

銀行：みずほ銀行

支店：麴町支店（021）

口座番号：普通 1348658

口座名義：一般社団法人日本毒性学会

*振込手数料はご負担ください。

*ご所属名でお振込みの際は、事務局までメールで受講者氏名（会員の方は会員番号）、所属、振込日、振込金額をご連絡下さい。

4) 受講料

一般会員：25,000円 学生会員：5,000円

非会員：30,000円 学生非会員：8,000円

認定トキシコロジスト：20,000円（2～3日受講）

10,000円（1日受講）

*交流会（1日目開催）の費用は受講料に含まれます。

*領収書につきましては、参加証と一緒に送付いたします。宛名のご指定がある場合は、申込時に入力下さい。

*キャンセルに伴う返金に関しては、講習会資料事前案内前に限り、対応します。事務局から案内後は納入済み受講料の返金は原則としていたしませんのでご了承下さい。

5) その他

昼食は各自ご用意下さい。講義室内での飲食は可能です。

*講習会場には電源のご用意がございませんので、講義中コンピューター類をご使用の場合は、各自でご対応をお願いいたします。

*受講修了者には受講証明書を発行します。また、学生受講者（大学院生を含む）は出欠を確認したうえで受講認定証を発行いたします。

「第21回日本毒性学会生涯教育講習会」

本講習会では、学習フレームを、①トピック、②トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナーとして実施しております。本年も同様のフレームで開催を予定しておりますので、是非、積極的なご参加をお待ちしております。

トピックスは、SOTの学術年会時に開催される教育コースから、2つのテーマを選び、新しい科学及び技術に関する最新のトピックスを学習する場としていきます。トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナーでは、各種毒性反応について基礎メカニズムから社会的に最新の毒性学の話題を含め深く学習する場としていきます。また、学習テーマに関連する共通知識として「非病理学者のための病理学講義」をセミナーに組み入れていきます。講習会資料はダウンロード形式としております。受講者の皆様には6月中旬にダウンロード方法をご案内いたします。

1. 日 時

2019年6月28日(日)

2. 会 場

仙台国際ホール(予定)

3. プログラム(仮)

1) SOT2020 報告: Continuing Education Course
の話題をもとに

1-1 木村 真之 先生(日産化学)

9:00~9:45

AM06: Modern Modeling Strategies to Address Uncertainty and Variability in Dose-Response Assessment

1-2 山内 敦子 先生(富士フィルム)

9:45~10:30

PM11: Gateway Technologies to Tomorrow's Metal Toxicological Research

(休憩 10:30~10:40)

2) 特別教育講演 10:40~11:30

林 多恵 先生

(一般財団法人化学物質評価研究機構)

「SDS, PDE/ADI, OELとトキシコロジスト(仮)」

3) トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナー:
“運動器(筋)/骨格”

3-1 11:30~12:20

寶来 直人 先生(新日本科学)

「非臨床基礎評価」(仮)

(昼休憩 12:20~13:30)

3-2 13:30~14:20

瀬川 博子 先生

(徳島大学大学院医歯薬学研究部)

「環境トピック(仮)」

3-3 14:20~15:20

松尾 沙織里 先生(中外製薬)

「病理(仮)」

4. 参加費(1日フルコースとして設定)(予定)

事前申込

会 員 5,000円

非会員 7,000円

認定トキシコロジスト 3,000円

当日申込

会 員 7,000円

非会員 10,000円

認定トキシコロジスト 5,000円

「第23回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験」

我が国の安全性試験の信頼性向上とトキシコロジーの進歩に寄与するため、質の高い専門家を認定するための試験です。受験資格の詳細については、毒性学ニュース及び学会ホームページの『一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程』をご覧ください。日本語・英語いずれかの受験になります。英語受験を希望する場合は、願書の英語受験希望欄にチェックを入れてください。

1. 日 時(予定)

2020年9月27日(日)/予備日10月3日(日)

台風等の自然災害により9月27日に試験開催が困難であると判断した場合に、予備日に実施します。なお、試験開催を延期する場合には、2日前(9月25日17時)までに受験者へご連絡いたします。

2. 会 場 (予定)

昭和大学 旗の台キャンパス

3. 受験料 (予定)

30,000 円

「認定トキシコロジスト資格の更新」

2000 年, 2005 年, 2010 年, 2015 年に認定トキシコロジストに認定された方 (認定トキシコロジスト No.171 ~ 194, 304 ~ 325, 457 ~ 480, 577 ~ 627 期) となります。詳細は 2019 年 12 月頃にメールをお送りいたしますのでご確認ください。

毒性学ニュース, 学会ホームページの『一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定資格更新に関する細則』をご覧ください。

「認定トキシコロジスト試験問題作成依頼について」

資格更新のための試験問題作成の依頼は 6 月上旬, 締め切りは 8 月中旬を予定しています。なお, 可能な限り, 2018 年 5 月発刊の「第 3 版トキシコロジー」からの出題をお願いいたします。その他, 詳細につきましては, 2020 年 6 月にご案内いたします。

第23回日本毒性学会基礎教育講習会日程

(場所：星薬科大学)

月 日	#	時 間	学 科 目	講 師
2020年 3月2日 (月)		09:00 - 09:10	オリエンテーション	基礎講習会小委員会 委員長
	1-1 (1:15)	09:10 - 10:25	毒性学とは	中西 剛 講師 (岐阜薬科大学 薬学部)
	1-2 (1:30)	10:35 - 12:05	毒性発現機序	中島 美紀 講師 (金沢大学 医薬保健研究域薬学系)
	1-3 (1:15)	12:50 - 14:05	動態・代謝 (膜透過, 吸収, 分布, 代謝, 排泄)	小澤 正吾 講師 (岩手医科大学 薬学部)
	1-4 (0:45)	14:15 - 15:00	トキシコキネティクス	
	1-5 (0:45)	15:10 - 15:55	一般毒性試験, 実験動物	大久保 慎吾 講師 (武田薬品工業)
	1-6 (0:45)	16:05 - 16:50	血液毒性	平林 容子 講師 (国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター)
	1-7 (0:45)	17:00 - 17:45	免疫毒性	中村 和市 講師 (北里大学 獣医学部)
		18:00 - 19:30	交流会	
2020年 3月3日 (火)	2-1 (1:30)	09:00 - 10:30	消化器毒性, 肝毒性	中野 (伊藤) 今日子 講師 (エーザイ 安全性研究部)
	2-2 (1:00)	10:40 - 11:40	腎・泌尿器毒性	村上 雄一 講師 (アクセリード 非臨床安全性研究)
	2-3 (1:00)	11:50 - 12:50	呼吸器毒性	佐藤 洋 講師 (岩手大学 農学部)
	2-4 (1:00)	13:35 - 14:35	神経行動毒性, 運動器毒性, 感覚器毒性	義澤 克彦 講師 (武庫川女子大学 生活環境学部)
	2-5 (1:00)	14:45 - 15:45	循環器毒性, 安全性薬理	田保 充康 講師 (中外製薬 研究本部 創薬 ADMET 研究部)
	2-6 (1:00)	15:55 - 16:55	皮膚・粘膜毒性, 光毒性, 代替試験法	小島 肇夫 講師 (国立医薬品食品衛生研究所 安全性予測評価部)
	2-7 (1:00)	17:05 - 18:05	生殖発生毒性, 生殖器毒性, 内分泌毒性	古川 賢 講師 (日産化学 生物科学研究所)
2020年 3月4日 (水)	3-1 (1:00)	09:00 - 10:00	遺伝毒性	濱田 修一 講師 (LSI メディエンス 創薬支援事業本部)
	3-2 (1:00)	10:10 - 11:10	発がん性	魏 民 講師 (大阪市立大学大学院 医学研究科)
	3-3 (1:00)	11:20 - 12:20	統計学	渡邊 真弓 講師 (第一三共 安全性研究所)
	3-4 (1:00)	13:05 - 14:05	環境毒性	石塚 真由美 講師 (北海道大学大学院 獣医学研究院)
	3-5 (1:15)	14:15 - 15:30	リスクアセスメント・ リスクマネジメント	北嶋 聡 講師 (国立医薬品食品衛生研究所 毒性部)
	3-6 (0:45)	15:40 - 16:25	臨床中毒学	沼澤 聡 講師 (昭和大学 薬学部)
		16:25	受講証明書授与	
資料のみ			化学物質の有害作用, 安全性 評価・管理	斎藤 嘉朗 講師 (国立医薬品食品衛生研究所 医薬安全科学部)
			毒性オミクス	山田 弘 講師 (医薬基盤・健康・栄養研究所)

第 22 回日本毒性学会認定トキシコロジスト 新規認定者

第 22 回認定トキシコロジスト認定試験を, 2019 年 10 月 6 日に昭和大学 旗の台キャンパスで行いました。その結果, 所定の書類審査に合格し, 試験問題総数 200 問の試験において 140 点以上の得点を獲得し, 新たに認定トキシコロジストと認められた受験者は次の 27 名でした。

おめでとうございます。

なお, 受験申請者の総数は 82 名でした。

石森かな江	坂井 慧	中川 翔太	満元 達也
板山 美咲	貞本 和代	西村悠花里	南 晃司
江崎 善彦	高橋 越史	一ツ町知明	宮本沙也佳
大波 冴子	高橋映里佳	平井 俊行	牟田 恭堯
桂田 泰輔	滝谷 優	福田 幸祐	吉沢 佑基
木本 浩貴	竹内 和也	藤井 雄太	吉田 翔太
許 睿	富川 恵美	堀内 貴至	

(五十音順 敬称略)

2019 年 10 月 31 日

一般社団法人日本毒性学会

理事長 熊谷 嘉人

教育委員会委員長 鈴木 陸

認定試験小委員会委員長 古川 賢

第47回日本毒性学会学術年会のご案内（第3報）

（年会ホームページ：<http://jsot2020.jp/>）

1. 会期
2020年6月29日（月）～7月1日（水）
2. 会場
仙台国際センター
〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地
TEL：022-265-2211（代表）
URL：<http://www.aobayama.jp/>
3. テーマ
“One Toxicology” ワントキシコロジー
－毒性学の知性をすべての生命のために－
4. 年会長
広瀬 明彦（国立医薬品食品衛生研究所）
5. 企画委員（敬称略・五十音順）
石田 誠一（国立医薬品食品衛生研究所）
石塚真由美（北海道大学）
小椋 康光（千葉大学）
小野 竜一（国立医薬品食品衛生研究所）
鍛冶 利幸（東京理科大学）
菅野 純（日本バイオアッセイ研究センター）
小島 肇（国立医薬品食品衛生研究所）
古武弥一郎（広島大学）
佐能 正剛（広島大学）
澤 智裕（熊本大学）
渋谷 淳（東京農工大学）
鈴木 睦（協和キリン（株））
種村健太郎（東北大学）
西田 基宏（自然科学研究機構）
黄 基旭（東北大学）
福井 英夫（アクセリード（株））
福島 民雄（塩野義製薬（株））
古川 賢（日産化学（株））
堀井 郁夫（ファイザー）
本田 大士（花王（株））
増村 健一（国立医薬品食品衛生研究所）
松下 幸平（国立医薬品食品衛生研究所）
松本 清（武田薬品工業（株））
三島 雅之（中外製薬（株））
宮脇 出（大日本住友製薬（株））
森 和彦（第一三共（株））
山田 久陽（大正製薬（株））
横井 毅（名古屋大学）
吉成 浩一（静岡県立大学）
6. 特別企画（予定，敬称略，仮題，順不同）
 - 1) 第18回市民公開セミナー
日時：2020年6月28日（日）11：00～12：30
会場：仙台メディアテーク
 - 2) 年会長招待講演
Bette Meek
(University of Ottawa, Canada)
 - 3) 特別講演
 - (1) 北野 大
(秋草学園短期大学)
 - (2) Christopher P. Weis
(National Institutes of Health/NIEHS, USA)
 - (3) Michael Bolt
(Pfizer, USA)
 - (4) Dean P. Jones
(Emory University, USA)
 - (5) Jung-Duck Park
(Chung-Ang University, Korea)
 - (6) 渡辺 知保
(国立環境研究所)
 - 4) 教育講演
Curtis D. Klaassen
(University of Kansas, USA)
 - 5) シンポジウム（32セッション）
 - ・iPS心筋細胞を活用した心毒性研究の最前線
 - ・抗がん剤による肺毒性のリスク・マネジメント評価戦略
 - ・医薬品開発の初期段階で実施される *in vitro* スクリーニング試験は薬物性肝障害（DILI）を回避する化合物を選択できたか？
 - ・日本薬理学会合同シンポジウム：化学物質の神経毒性評価の現状と課題
 - ・低用量／低濃度暴露による発達神経毒性評価系の国際標準化に伴う課題と対応
 - ・*In vivo* mutagenesis の検出手法の進歩と今後のリスク評価への活用
 - ・生殖発生毒性に関する新展開
 - ・胎盤の機能と生殖発生毒性
 - ・ヒトにおける薬物動態を考慮した新規 *in silico/in vitro/in vivo* 毒性評価モデルの構築と将来展望
 - ・基礎発生学と先天異常学から学ぶ毒性エピジェネティクス

- ・毒性オミクスにおけるエピジェネティクス解析及び人工知能の活用と精度管理
 - ・医薬品における新しい Computational Toxicology の展開：Ontology 思考下でのシステム構築
 - ・自然毒の生体応答と分子作用機構
 - ・硫黄代謝研究の最前線が切り拓く毒性学
 - ・リキッドバイオプシーの最前線
 - ・新規工学的的手法と薬剤安全性研究の融合
 - ・非臨床安全性試験における 3Rs とは
 - ・MEASURE：ヒト細胞加工製品の造腫瘍性関連試験のバリデーションと国際標準化を目指した官民共同研究
 - ・再生医療等製品の安全性評価
 - ・がん免疫療法の毒性とその非臨床研究
 - ・ゲノム編集技術とその安全性
 - ・メチル水銀毒性発現機序の解明に向けた挑戦
 - ・バイオジェニックナノ粒子形成機構とその毒性的意義
 - ・新しい非臨床試験評価技術構築のための非臨床試験データ電子化へ向けたチャレンジ
 - ・レドックストキシコロジーの潮流：若手研究者が語り合う現在と未来
 - ・医薬品・食品・化粧品での安全性確保を目指した評価法に対する若手研究者からの提案
 - ・日本中毒学会合同シンポジウム：海産毒 リビジテッド 2.0
 - ・米国毒性学会合同シンポジウム：ビックデータの毒性研究・評価への活用
 - ・日本毒性病理学会合同シンポジウム：毒性病理学会からのトピック -新規モダリティ評価における毒性病理学-
 - ・次世代研究セミナー：異分野の革新的研究に学ぶ毒性学の新たな可能性
 - ・食品リスク評価研究への新規評価技術の展開
 - ・生体模倣システムと臨床予測への道：毒性学と薬物動態学、工学の融合
- 6) ワークショップ (7セッション)
- ・生体イメージング技術を利用した安全性評価への新たな挑戦
 - ・医薬品安全性から見たターゲットプロファイリングの最新の話題と戦略事例
 - ・次世代型中分子ペプチド医薬品の品質及び安全性確保のための規制要件に関する研究 (AMED 非臨床試験研究班中間報告)
 - ・重金属のシグナルトキシコロジー
 - ・*In silico* 暴露解析最前線：ヒトと環境
 - ・GMP 省令施行・Q&A 発行に伴う PDE 設定の新たな動き
 - ・The application and integration of novel safety strategies to influence better decision-making in early drug discovery

7) キャリア形成支援プログラム

7. 一般演題

1) 一般演題 (口演およびポスターでの発表) を募集します。主発表者 (プレゼンター) は本学会会員に限ります。現在非会員の方で発表を希望される方は、学会ホームページ掲載の入会申込書にて、演題申込締切日までに日本毒性学会事務局へ入会の手続きを行って下さい。
日本毒性学会ホームページ：<http://www.jsot.jp/>
なお、ポスターとスライド作成は、原則英語となります。

2) 演題登録はインターネットを利用したオンライン登録のみです。下記 8 に記載する「演題登録要領」を参照の上、年会ホームページから登録して下さい。

演題申込開始日：

2019 年 12 月 20 日 (金) (予定)

演題申込締切日：

2020 年 2 月 21 日 (金) (予定)

3) 一般演題は口演またはポスター発表とします。口演発表につきましては、発表と討論の時間を合わせて 10～15 分程度を予定しています。詳細は、演題申込数を考慮の上でできるだけ早い時期にお知らせいたしますので、ホームページなどで随時ご確認下さい。発表方法は液晶プロジェクターのみです。ポスター発表は、毎日貼替えてポスター展示を行い、途中で質疑応答時間を設けます。

4) 優秀研究発表賞応募演題

2020 年 3 月 31 日時点で 35 歳以下の方を対象として候補者を募集します。

応募者は演題申込時にその旨登録して下さい。応募者はポスター発表に加え、別会場で口頭発表と質疑応答を第 1 日目 (6 月 29 日 (月)) に行っていただきます。受賞者の発表は、第 2 日目 (6 月 30 日 (火)) に行います。授賞式等詳細は、年会ホームページにて追ってご案内いたします。受賞者には、賞状と副賞を授与します。

5) 学生ポスター発表賞応募演題

学術年会 (2020 年 6 月 29 日 (月)) の時点で学生 (大学院生を含む、ただし社会人大学院生は除く) のポスター発表 (筆頭著者) の方を対象とします。

応募者は演題申込時にその旨登録して下さい。審査はポスター発表内容のみで行います。対象のポスターは第 1 日目 (6 月 29 日 (月)) に掲

示し、受賞者の発表は、第2日目(6月30日(火))に行います。授賞式等詳細は、年会ホームページにて追ってご案内いたします。受賞者には、賞状と副賞を授与します。

※上記, 4), 5)の賞への重複申請は不可とします。

8. 演題登録要領

演題登録はインターネットを利用したオンライン登録のみです。締め切り間際はアクセス集中によりサーバー処理能力が極端に低下します。そのため、登録に時間を要する、あるいは登録が完了できないといった事態が生じることが予測されますので、演題募集要領と年会ホームページを熟読した上で、余裕をもって登録して下さい。

◆登録方法ならびに登録確認・訂正◆

年会ホームページにアクセスし、演題募集のメニューより案内に従って、次の流れのように登録を進めて下さい。なお、演題登録は発表者本人が行って下さい。発表者個人情報登録→一般演題登録→共著者・演題情報登録→登録内容確認→登録完了

1) 発表者個人情報登録

発表者は本学会会員に限ります。登録には会員番号(5桁)が必要です。

パスワード(半角英数)は登録内容の確認や変更を行うときに使用します。4文字以上10文字以内で入力して下さい。なお、パスワードはメニューページの「パスワードを変更する」より変更することが可能です。入力したパスワードは各自で大切に記録・保管して下さい。

2) 共著者・演題情報登録

2-1) 共著者情報登録

共著者の氏名・所属を入力して下さい。共著者数は最大20名、所属機関名は最大15施設まで登録可能です。

2-2) 演題カテゴリー登録

詳細については、年会ホームページにて追ってご案内いたします。

2-3) 発表形式

発表形式を「口演」、「ポスター」、「どちらでも可」の中から選択して下さい。優秀研究発表賞もしくは学生ポスター発表賞に応募する場合は「ポスター」を選択して下さい。

優秀研究発表賞もしくは学生ポスター発表賞への応募の有無を選択して下さい。

2-4) 演題名

文字数について、登録ページの入力欄には、文字数制限がありません。下記を目処にお願いします。

日本語演題名 文字数:

最大全角80文字(スペース含め)

英語演題名 文字数:

最大半角200文字(スペース含め)

なお、演題名に特殊文字/上付き/下付き/ボールド/イタリックなどの文字を含む場合には、下記ページのHTMLタグを使用し、入力して下さい。

ただし、このHTMLタグは、上記文字数にはカウントしません。

(タグ一覧/特殊文字一覧/よく使用する特殊文字ページ)

http://www.senkyo.co.jp/tag/ja/tag_list.html

2-5) 要旨作成要領

今回は、日本語及び英語の要旨のご提出をお願いしております。本文の文字数は、日本語:全角として800字以内、英語:半角として600字以内(スペース含む)です。本文中に演題名・所属・氏名・図表等を入れないで下さい。

3) 登録内容確認・訂正

登録の最後に登録情報の確認画面が表示されますので、内容を確認・訂正して下さい。後日改めて確認・訂正を行う場合は、登録時に入力したパスワードを用いて確認・訂正画面を表示させることができます。

4) 登録完了

登録が完了すると演題登録番号が表示されます。登録したメールアドレス宛てに演題登録完了メールが送信されますので確認して下さい。翌日まで経過してもメールが届かない場合は事務局までご連絡下さい。

9. 参加登録および参加費

事前参加申込開始日:

2020年1月24日(金)(予定)

事前参加申込締切日:

2020年5月15日(金)※延長なし(予定)

1) 参加費

※学会会員の参加費は「不課税」、関連学会会員、非会員の参加費と懇親会費は「課税(消費税込)」となります。

カテゴリー	事前参加 登録 (早期)*1	事前参加 登録 (後期)*2	当日参加 登録
会員	12,000 円	14,000 円	16,000 円
学生会員	3,000 円	4,000 円	5,000 円
関連学会会員 *3	13,000 円	15,000 円	17,000 円
非会員	15,000 円	17,000 円	19,000 円
懇親会費 (一般)	10,000 円	11,000 円	12,000 円
懇親会費 (学生)	4,000 円	5,000 円	5,000 円

* 1 2020年3月31日(火)まで

* 2 2020年4月1日(水)から5月15日(金)まで

* 3 次の学会会員の方です。(50音順)

共催：日本中毒学会
 日本毒性病理学会
 日本免疫毒性学会
 日本薬理学会
 米国 SOT (Society of Toxicology)

協賛：日本安全性薬理研究会
 日本医薬品情報学会 (予定)
 日本衛生学会
 日本環境変異原学会
 日本産業衛生学会
 日本実験動物学会
 日本獣医学会 (予定)
 日本食品衛生学会
 日本食品化学学会
 日本先天異常学会
 日本動物実験代替法学会 (予定)
 環境ホルモン学会 (日本内分泌攪乱化学物質学会)
 日本薬学会
 日本薬物動態学会

2) お支払い方法

・クレジットカード

・コンビニエンスストア

※決済等の詳細については、年会ホームページにて追ってご案内いたします。

10. 懇親会

次の通り懇親会を開催いたしますので、是非ご参加下さい。

日時：2020年6月30日(火) 18:30～(予定)

場所：ホテルメトロポリタン仙台

<https://sendai.metropolitan.jp/>

11. 展示, ランチョンセミナーなどの募集

展示, ランチョンセミナー, 広告掲載を募集します。詳細については年会ホームページをご覧ください。

12. 年会事務局

〒210-9501 神奈川県川崎市川崎区殿町 3-25-26
 国立医薬品食品衛生研究所 安全性予測評価部

事務局長：山田 隆志

事務局次長：井上 薫

TEL：044-270-6688 FAX：044-270-6703

E-mail：secretariat@jsot2020.jp

医薬品毒性機序研究部会主催

第2回 医薬品毒性機序研究会

昨年度、医薬品毒性機序研究部会の第1回研究会が、部会長の横井毅先生（名古屋大）により開催され、本研究会が本格的に始動する運びとなりました。この度、第2回研究会を2020年1月23日～24日に川崎で開催させていただくことになりました。医薬品毒性機序に関する研究者間の交流・情報交換の場として、特別講演・シンポジウムと一般発表を予定しています。「画像の可能性と毒性機序探索の未来」をテーマとしつつ、関連する研究に限らない幅広い話題について、討論や議論がじっくりできる会を目指したいと思っております。一般演題はすでに他学会で発表済みの内容や、研究途中の内容も歓迎します。更に深い議論の場としていただけましたら幸いです。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

会 期 2020年1月23日（木）～24日（金）
23日：10：00～18：00（受付9：00～）
24日：9：30～16：15（受付8：45～）

会 場 川崎市産業振興会館
<https://kawasaki-sanshinkaikan.jp/>
〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町66-20
JR 東海道線・京浜東北線・南武線：
川崎駅から 徒歩8分
京急本線：京急川崎駅から 徒歩7分

実行委員長 小川 久美子
（国立医薬品食品衛生研究所 病理部）

テーマ 「画像の可能性と毒性機序探索の未来」

プログラム概要

◎特別講演（2題）

1. 革新的イメージング技術を駆使した多階層医薬品毒性機序解析技術の創出
2. 病理標本における機械学習の活用法

◎シンポジウム（4セッション）

1. 代謝・毒性研究の新技術・新機軸

2. ゲノム医療の実現に向けたコンパニオン診断薬の開発
3. 核酸医薬品・非天然型ペプチド医薬品における毒性評価の現状と今後の課題
4. 毒性評価における病理・イメージングの新展開

◎ポスター発表（若手優秀発表賞あり）

ポスター形式の一般演題を募集します。

（2～3分程度のフラッシュトークを全ての演題にお願いします。）

詳細は研究会ホームページをご覧ください。

<http://www.senkyo.co.jp/iyakudokuken/>

演題申込期間

2019年10月21日（月）～12月3日（火）

参加登録・懇親会

事前参加登録：

2019年10月21日（月）～12月20日（金）

一般 6,000円、学生 3,000円

当日参加登録：

一般 7,000円、学生 3,000円

懇親会：ポスター会場にて（1月23日18：00～）

一般 5,000円、学生 3,000円

事務局

国立医薬品食品衛生研究所
安全性生物試験研究センター 病理部 豊田武士
〒210-9501 神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-26
TEL：044-270-6651 FAX：044-270-6655
事務局用 E-mail：dtm2@nihs.go.jp

特別講演・シンポジウム プログラム（予定）

◎特別講演1（1月23日午後）

SL-1 革新的イメージング技術を駆使した多階層医薬品毒性機序解析技術の創出

今村 健志（愛媛大学大学院 医学系研究科）

◎特別講演 2 (1月24日午前)

- SL-2 病理標本における機械学習の活用法
高松 学 (がん研究会がん研究所)

◎シンポジウム 1 (1月23日午前)

代謝・毒性研究の新技术・新機軸

- S1-1 質量分析イメージングによる組織内局所代謝解析の最新動向

杉山 栄二 (静岡県立大学 薬学部)

- S1-2 内外環境因子が肝再生や代謝能に与える影響
佐能 正剛 (広島大学大学院 医系科学研究科)

- S1-3 シトクロム P450 阻害作用にもとづく化学物質プロファイリングの毒性予測研究への応用
吉成 浩一 (静岡県立大学 薬学部)

- S1-4 質量分析イメージングを用いた核医学診断剤の代謝機序探索

志水 陽一 (京都大学 医学部附属病院)

◎シンポジウム 2 (1月23日午後)

ゲノム医療の実現に向けたコンパニオン診断薬の開発

- S2-1 コンパニオン診断薬をめぐる規制と開発の動向
鈴木 孝昌

(国立医薬品食品衛生研究所遺伝子医薬部)

- S2-2 メタボロミクス解析による安全性バイオマーカー探索とコンパニオン診断への可能性

齊藤 公亮

(国立医薬品食品衛生研究所 医薬安全科学部)

- S2-3 コンパニオン診断薬に関わる病理診断

高橋 智 (名古屋市立大学大学院 医学研究科)

- S2-4 法令・制度面からみたがんゲノム医療

－企業の立場での課題－

田澤 義明 (中外製薬株式会社)

◎シンポジウム 3 (1月24日午前)

核酸医薬品・非天然型ペプチド医薬品における毒性評価の現状と今後の課題

- S3-1 核酸医薬品における毒性評価の現状

～国際協調ガイドラン策定への道のり～

平林 容子 (国立医薬品食品衛生研究所

安全性生物試験研究センター)

- S3-2 核酸医薬品における毒性評価の課題

～パブリックコメントより～

木下 潔 (日本製薬工業協会 基礎研究部会)

- S3-3 ペプチド医薬品の非臨床安全性評価の考え方

真木 一茂 (医薬品医療機器総合機構)

- S3-4 ペプチド医薬品安全性試験の課題

三島 雅之 (中外製薬株式会社)

◎シンポジウム 4 (1月24日午後)

毒性評価における病理・イメージングの新展開

- S4-1 がんの病理組織検体を用いたエピゲノム解析：個別化医療開発への展開

金井 弥栄 (慶応義塾大学 医学部)

- S4-2 毒性評価における Magnetic Resonance Imaging (MRI) 及び組織透明化技術の活用に向けて

武田 賢和 (エーザイ株式会社)

- S4-3 病理学的手法による膀胱発がん性の早期検出および機序解明

豊田 武士 (国立医薬品食品衛生研究所 病理部)

- S4-4 TBD

TBD

2020 年度日本毒性学会特別賞候補者推薦要領

社会における毒性学の認知度の向上, 発展, 充実に大きく貢献した非会員の研究者に日本毒性学会特別賞を授与する。

候補者の資格：日本毒性学会非学会員。

推薦者の資格：日本毒性学会理事 1 名。

表彰：授賞者数は毎年, 最大 1 名とし, 賞状および副賞を授与する。授賞式は日本毒性学会学術年会の総会終了後に行う。

受賞講演：受賞者（或いは代理人）は日本毒性学会学術年会にて受賞講演を行う。

候補者の推薦：推薦者は, 受賞候補者に関する下記事項を所定用紙に記入し, 日本毒性学会理事長宛（事務局）に電子メールで提出する。

- ・推薦書（候補者氏名, 授賞タイトルを所定の用紙に記入したもの）
- ・推薦理由（1,000 字以内）
- ・特別賞の対象となる業績目録：原著論文, 総説・著書, 主催, 発表等

推薦書類の送付先：jsotq@jsot.jp
（日本毒性学会事務局）

推薦締切：2019 年 12 月 31 日（火）

2020 年度日本毒性学会学会賞候補者推薦要領

毒性学に関連する顕著な研究業績をあげ、かつ日本毒性学会の発展充実に大きく貢献した本会会員に日本毒性学会学会賞を授与する。

候補者の資格：現に 10 年以上継続して日本毒性学会の会員であり、授賞年度の 4 月 1 日に満 65 歳以下である者。ただし、推薦される研究課題で既に他学会等の賞を受けている者は対象とならない。

推薦者の資格：日本毒性学会評議員 1 名。

表彰：授賞者数は毎年 1 名とし、賞状および副賞を授与する。授賞式は 2020 年度の日本毒性学会学術年会の総会終了後に行う。

受賞講演：受賞者は 2020 年度の日本毒性学会学術年会にて受賞講演を行う。

候補者の推薦：推薦者は、受賞候補者に関する下記事項を所定用紙に記入し、日本毒性学会理事長宛（事務局）に電子メールで提出する。なお、所定用紙（Word ファイル）は日本毒性学会ホームページ（<http://www.jsot.jp/award/index.html>）からダウンロードして使用すること。

- ・推薦書（候補者氏名、略歴、会員歴等を所定の用紙に記入したもの）
- ・推薦理由（2000 字以内）
- ・学会賞の対象となる業績目録：原著論文（J.Toxicol. Sci. 掲載論文に丸印を付ける）、総説・著書
- ・過去 5 年間に日本毒性学会学術年会で発表した一般講演演題リスト（共同著者となっている演題を含む）

推薦書類の送付先：jsotq@jsot.jp
（日本毒性学会事務局）

推薦締切：2019 年 12 月 31 日（火）

2020 年度日本毒性学会奨励賞候補者推薦要領

毒性学に関する研究において独創的な研究業績をあげつつあり、将来が期待される本会会員に日本毒性学会奨励賞を授与する。

候補者の資格：現に 3 年以上継続して日本毒性学会の会員であり、授賞年度の 4 月 1 日に満 40 歳以下である者。ただし、推薦される研究課題で既に他学会等の賞を受けている者は対象とならない。

推薦者の資格：日本毒性学会評議員 1 名。

表彰：授賞者数は毎年 3 名以内とし、賞状および副賞を授与する。授賞式は 2020 年度の日本毒性学会学術年会の総会終了後に行う。

受賞講演：受賞者は 2020 年度の日本毒性学会学術年会にて受賞講演を行う。

候補者の推薦：推薦者は、受賞候補者に関する下記事項を所定用紙に記入し、日本毒性学会理事長宛（事務局）に電子メールで提出する。なお、所定用紙（Word ファイル）は日本毒性学会ホームページ（<http://www.jsot.jp/award/encourage.html>）からダウンロードして使用すること。

- ・推薦書（候補者氏名、略歴、会員歴等を所定の用紙に記入したもの）
- ・推薦理由（2000 字以内）
- ・奨励賞の対象となる業績の目録：原著論文（J.Toxicol. Sci. 掲載論文に丸印を付ける）、総説・著書
- ・過去 3 年間に日本毒性学会学術年会で発表した一般講演演題リスト（共同著者となっている演題を含む）

推薦書類の送付先：jsotq@jsot.jp
（日本毒性学会事務局）

推薦締切：2019 年 12 月 31 日（火）

2020年度日本毒性学会佐藤哲男記念賞 (学術貢献賞) 候補者推薦要領

毒性学に関連する顕著な研究業績をあげ、かつ日本毒性学会の発展充実に大きく貢献した本会会員に日本毒性学会佐藤哲男記念賞(学術貢献賞)を授与する。

候補者の資格：現に10年以上継続して日本毒性学会の会員であるもの。ただし、推薦される研究課題で既に他学会等の賞を受けているものは対象とならない。

推薦者の資格：日本毒性学会評議員1名。

表彰：授賞者数は毎年、最大1名とし、賞状および副賞を授与する。授賞式は日本毒性学会学術年会の総会終了後に行う。

受賞講演：受賞者(或いは代理人)は日本毒性学会学術年会にて受賞講演を行う。

候補者の推薦：推薦者は、受賞候補者に関する下記事項を所定用紙に記入し、日本毒性学会理事長宛(事務局)に電子メールで提出する。

- ・推薦書(候補者氏名、授賞タイトルを所定の用紙に記入したもの)
- ・推薦理由(1,000字以内)
- ・佐藤哲男記念賞の対象となる業績目録:原著論文、総説・著書、主催、発表等

推薦書類の送付先：jsotq@jsot.jp
(日本毒性学会事務局)

推薦締切：2019年12月31日(火)

第 46 回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について

第 46 回日本毒性学会学術年会の要旨集を 1 部 3,500 円（税・送料込）で販売します。ご希望の方は郵便局に備付けの郵便振替用紙に必要事項をご記入の上、下記口座までお振り込み下さい。ご納入確認後、要旨集を発送致します。

なお、学術年会（第 32 回以降）の要旨はオンライン（J-STAGE）でも閲覧が可能です（<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/toxp/-char/ja>）。

振込先：口座番号	00150-9-426831
加入者名	一般社団法人日本毒性学会
要旨集価格	3,500 円（1 部）

通信欄記入事項：①住所 ②氏名（団体の場合は機関名・部署等）③電話番号
④第 46 回学術年会要旨集希望の旨

※通信欄のご記入住所へ送本致します。詳細なご記入をお願い致します。

問い合わせ先：日本毒性学会事務局
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
パレスサイドビル
株式会社毎日学術フォーラム内
TEL：03-6267-4550 FAX：03-6267-4555
E-mail：jsotq@jsot.jp

毒性学ニュース索引 (44 卷)

毒性学ニュース索引 (44 巻)

日本毒性学会からのお知らせ

第 46 回日本毒性学会学術年会のご案内 (第 4 報)	No. 1	3
第 46 回日本毒性学会学術年会のご案内 (第 5 報)	No. 2	22
第 46 回日本毒性学会学術年会のご案内 (第 6 報)	No. 3	45
第 47 回日本毒性学会学術年会のご案内 (第 1 報)	No. 4	57
第 47 回日本毒性学会学術年会のご案内 (第 2 報)	No. 5	95
第 47 回日本毒性学会学術年会のご案内 (第 3 報)	No. 6	108
第 46 回日本毒性学会学術年会報告	No. 5	92
第 21 回日本毒性学会生涯教育講習会	No. 5	102
第 22 回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験	No. 3	34 / No. 4 51
第 22 回日本毒性学会認定トキシコロジスト新規認定者	No. 6	107
第 22 回日本毒性学会基礎教育講習会日程	No. 2	21 / No. 3 44
第 23 回日本毒性学会基礎教育講習会日程	No. 6	106
第 23 回日本毒性学会基礎教育講習会	No. 5	102
第 45 回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について	No. 1	11 / No. 2 26 / No. 3 48
第 46 回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について	No. 4	61 / No. 5 94 / No. 6 117
第 58 回 Society of Toxicology (SOT) 学術年会派遣報告① - Continuing Education Course に参加して -	No. 4	62
第 58 回 Society of Toxicology (SOT) 学術年会派遣報告② - Continuing Education Course に参加して -	No. 4	63
2019 年度一般社団法人日本毒性学会 評議員会・社員総会報告	No. 5	66
2019 年度年会費の納入のお願い	No. 3	29
2020 年度日本毒性学会特別賞候補者推薦要領	No. 4	58 / No. 5 97 / No. 6 114
2020 年度日本毒性学会学会賞候補者推薦要領	No. 4	59 / No. 5 98 / No. 6 115
2020 年度日本毒性学会奨励賞候補者推薦要領	No. 4	59 / No. 5 98 / No. 6 115
2020 年度日本毒性学会佐藤哲男記念賞 (学術貢献賞) 候補者推薦要領	No. 4	60 / No. 5 99 / No. 6 116
日本毒性学会教育委員会からのお知らせ (第 1 報)	No. 6	103
日本毒性学会教育委員会からのお知らせ (第 2 報)	No. 1	8
日本毒性学会教育委員会からのお知らせ (第 3 報)	No. 2	17
日本毒性学会教育委員会からのお知らせ (第 4 報)	No. 3	40
日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験願書	No. 3	36 / No. 4 53
認定試験受験資格のための評点表	No. 3	38 / No. 4 55
米国毒性学会 (SOT) 教育コースへの派遣者公募	No. 5	100
医薬品毒性機序研究部会主催 第 2 回 医薬品毒性機序研究会	No. 5	96 / No. 6 112
公告: 理事・監事候補者の選挙について	No. 5	65
佐藤哲男記念賞 (学術貢献賞) の創設及び候補者推薦受付のお知らせ	No. 1	1
社員総会開催のご案内と出欠票 (委任状) 提出のお願い	No. 1	12 / No. 2 16
社員総会開催のご案内と電磁的総会出欠 (委任状) 回答システムへのご登録のお願い	No. 3	33
書評 Casarett & Doull's Toxicology: The Basic Science of Poisons, 9th ed.	No. 1	2
「佐藤哲男記念賞」創設にあたって - 感謝と責任と期待 -	No. 2	15
「特別賞を受賞して」渡辺知保	No. 5	82
「学会賞を受賞して」佐藤雅彦	No. 5	83
「佐藤哲男記念賞 (学術貢献賞) を受賞して」堀井郁夫	No. 5	84
「奨励賞を受賞して」木村栄輝	No. 5	85
「奨励賞を受賞して」白井真人	No. 5	85
「奨励賞を受賞して」外山喬士	No. 5	86
「田邊賞を受賞して」吉成浩一	No. 5	86
「田邊賞を受賞して」磯部剛仁	No. 5	87
「田邊賞を受賞して」山田 茂	No. 5	87
「田邊賞を受賞して」杉山真理子	No. 5	88
「ファイザー賞を受賞して」曾根秀子	No. 5	88
「ファイザー賞を受賞して」吉岡弘毅	No. 5	89
「ファイザー賞を受賞して」古武弥一郎	No. 5	89
「ファイザー賞を受賞して」杉山圭一	No. 5	90
「技術賞を受賞して」磯部剛仁	No. 5	90
「技術賞を受賞して」仁平開人	No. 5	91
「技術賞を受賞して」渡 隆爾	No. 5	91

その他のお知らせ

2019 年度日本環境変異原学会公開シンポジウム	No. 2	27
第 10 回日本安全性薬理研究会学術年会	No. 1	13
第 59 回日本臨床化学会年次学術集会	No. 2	27 / No. 3 49 / No. 4 64

一般社団法人日本毒性学会の定款および規程類について

日本毒性学会の定款および規程類については、最新版が学会ホームページ (http://www.jsot.jp/about/rule_list.html) に掲載されています。

特に重要な変更があった場合は、毒性学ニュースで周知を図ることとします。

- 一般社団法人日本毒性学会 定款
- 一般社団法人日本毒性学会 評議員選出規程
- 一般社団法人日本毒性学会 理事・監事選出規程
- 一般社団法人日本毒性学会 理事および監事候補の選出に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 常置委員会共通規程
- 一般社団法人日本毒性学会 名誉会員・功労会員推薦規程
- 一般社団法人日本毒性学会 入会規程
- 一般社団法人日本毒性学会 賛助会員に関する規程
- 一般社団法人日本毒性学会 特別賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 学会賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 佐藤哲男記念賞（学術貢献賞）選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 奨励賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 技術賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 田邊賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 ファイザー賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 日化協 LRI 賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 認定トキシコロジストの認定制度規程
- 一般社団法人日本毒性学会 認定トキシコロジストの資格更新に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 名誉トキシコロジスト表彰に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 米国毒性学会教育コースへの学会員派遣に関する規程
- J. Toxicol. Sci. 投稿規程
- Fundam. Toxicol. Sci. 投稿規程
- 一般社団法人日本毒性学会 動物実験に関する指針
- 一般社団法人日本毒性学会 個人情報の適正な管理・利用等に関する基本方針
- 一般社団法人日本毒性学会 部会に関する規程

新しい発見を 変わらない品質で

私たち日本クレアは、生命のあらゆる可能性を探求し発展させる基盤として、動物愛護のグローバルな視点に立った世界最高品質の実験動物を提供して参ります。



マウス・ラット

● Closed Colony

- マウス Jcl:ICR
- ラット Jcl:SD, Jcl:Wistar
Br/Han:WIST@Jcl(GALAS)

● MCH (Multi Cross Hybrid)

- マウス MCH(ICR)/Jcl

● Inbred

- マウス C3H/HeNjcl, C3H/HeJjcl*¹
C57BL/6Njcl, C57BL/6Jjcl*¹
BALB/cAjcl, BALB/cByJjcl*¹
FVB/Njcl, DBA/2Jjcl*¹, 129*^{Ter}/Svjcl
- ラット F344/Jcl

● 疾患モデル

免疫不全モデル

- マウス BALB/cAjcl-*nu*
C.B-17/1cr-*scid* Jcl
NOD/Shijic-*scid* Jcl
ALY[®]/Nscjcl-*aly**²
- ラット F344/Njcl-*rnu*

1型糖尿病モデル

- マウス NOD/Shijcl

2型糖尿病モデル

- マウス KK/Tajcl, KK-A^y/Tajcl
BKS.Cg-*m*+/*Lepr*^{db}/Jcl*¹
- ラット GK/Jcl, SDT/Jcl, SDT fatty/Jcl

アスコルビン酸合成能欠如モデル

- ラット ODS/Shijcl-*od*

● 疾患モデル

網膜変性疾患モデル

- ラット RCS/Jcl-*rdy*

関節リウマチモデル

- マウス SKG/Jcl

外用保湿剤・外用殺菌消毒薬効果検証モデル

- マウス NOA/Jcl*²

● 遺伝子改変動物

短期発ガン性試験モデル

- マウス CByB6F1-Tg (HRAS)2jic

乳腺がん高感受性モデルラット

- ラット Hras128/Jcl*³

睪がん高感受性短期発ガンモデルラット

- ラット Kras301/Jcl*³

生体恒常性維持機構解析モデル

- マウス *α*-Klotho KO/Jcl*²

- マウス *klotho*/Jcl*³

アレルギーモデル

- マウス OVA-IgE/Jcl (卵アレルギー)*²
TNP-IgE/Jcl (化学物質アレルギー)*²

● Hybrid

- マウス B6C3F1/Jcl, B6D2F1/Jcl

● Germfree

- マウス MCH(ICR)/Jcl[Gf], C57BL/6Njcl[Gf]
BALB/cAjcl[Gf]

その他の取り扱い動物

● (公財) 実験動物中央研究所維持系統

● サル類

- マーモセット Jcl:C.Marmoset(jic) (国内生産)

実験動物用飼料

一般動物用飼料 / 家畜・家禽試験用飼料 / 放射線滅菌飼料 / 特殊実験用配合飼料 / 成分分析

器具・器材

飼育ケージ / 飼育機・ラック / 自動飼育システム / クリーンエアシステム / バイオハザード対策システム / 空調設備 / 排水処理システム / 管理・実験機器 / 施設計画コンサルティング

受託業務

微生物学的クリーニング / 遺伝子改変マウスの作製 / モノクローナル抗体作製 / 受精卵採取・凍結処理 / 凍結受精卵の供給 / 系統維持及び生産 / 各種処置動物作出 / マイクロバイオーム研究のサポート / 各種受託試験 他

関連業務

動物輸出入 / 微生物モニタリング / 遺伝モニタリング / 各種データ / 情報サービス

業務提携

Physiogenex社(仏): 代謝性疾患領域に特化した薬効薬理試験受託サービス
(株)ジーピーシー研究所: イメージングマウスの作製サービス

*1 *This substrain is at least (a number>20 by definition) generations removed from the originating JAX® Mice strain and has NOT been re-infused with pedigreed stock from The Jackson Laboratory.
*2 凍結受精卵による維持 *3 維持系統につき、原則、余剰動物からの出荷



www.CLEA-Japan.com

東京 A D 部	〒153-8533 東京都目黒区東山1-2-7	TEL.03-5704-7050(代)
大阪 A D 部	〒564-0053 大阪府吹田市江の木町6-5	TEL.06-4861-7101(代)
【動物・飼料のご注文先: AD受注センター TEL.03-5704-7123】		
東京器材部	〒153-8533 東京都目黒区東山1-2-7	TEL.03-5704-7600(代)
大阪器材部	〒564-9953 大阪府吹田市江の木町6-5	TEL.06-4861-7105(代)
札幌出張所	〒063-0849 札幌市西区八軒九条西10-4-28	TEL.011-631-2725(代)
仙台出張所	〒983-0014 仙台市宮城野区高砂1丁目30-24	TEL.022-352-4417(代)

医薬品開発をトータルにサポート

基礎検討試験

前臨床試験

臨床試験

薬物動態試験

- High Quality -

高品質なデータの提供

- Globalization -

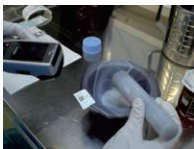
グローバルな事業展開

- Prompt Response -

迅速なサービスの提供

充実した支援体制

- AAALAC International（国際実験動物ケア評価認証協会）認証
- FDA IND/NDA電子化申請対応（CDISC SEND）
- バーコードによるミス防止システム
- 世界中どこからでも閲覧可能



Leica Aperio AT2



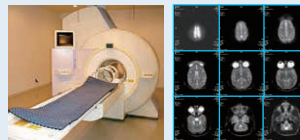
カニクイザル眼球HE染色

最新機種の導入

- Erenna Immunoassay System(EMD Millipore)



- MRI



Siemens Allegra 3.0T

カニクイザル頭部 (T2WI)

- qPCR



ABI 7500 Fast

お問い合わせ先

株式会社新日本科学

<https://www.snbl.co.jp/>

Email: info@snbl.co.jp

TEL: 03-5565-6140

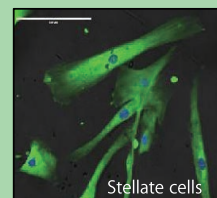
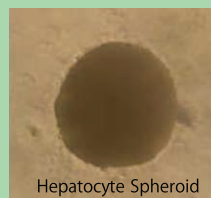
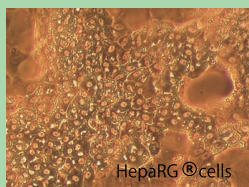


HepaRG®・初代肝細胞



- HepaRG® 凍結バイアル
- HepaRG® 増殖培養キット
- HepaRG® プレート播種タイプ
- CYP3A4G/7R HepaRG®
 - CYP3A4の発現を緑色蛍光で検出可能
 - 鳥取大学が開発 (WO2014061829A1; 薬物代謝酵素誘導および細胞毒性の評価方法、ならびにそのためのベクターおよび細胞)

- ヒト凍結肝細胞
 - 接着 / 非接着 / スフェロイド培養用
- アニマル凍結肝細胞
 - 動物種：マウス、ラット、イヌ、サル
- ヒト凍結非実質肝細胞、星細胞等
- ヒト非凍結肝細胞 (プレート播種タイプ)



受託試験

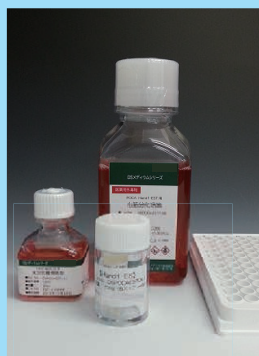
- 薬物相互作用評価試験
- 肝毒性評価試験
- 腎毒性評価試験



発生毒性評価キット POCA® Hand1-EST

<製品概要>

POCA® Hand1*-ESTは、心筋分化関連遺伝子のモニターにより発生毒性(催奇形性)をin vitroで評価するEST(Embryonic Stem Cell Test)キットです。 *Hand1：胎生期の左心室、右心室に優位に発現する発生に関与する転写因子



【製品特長】

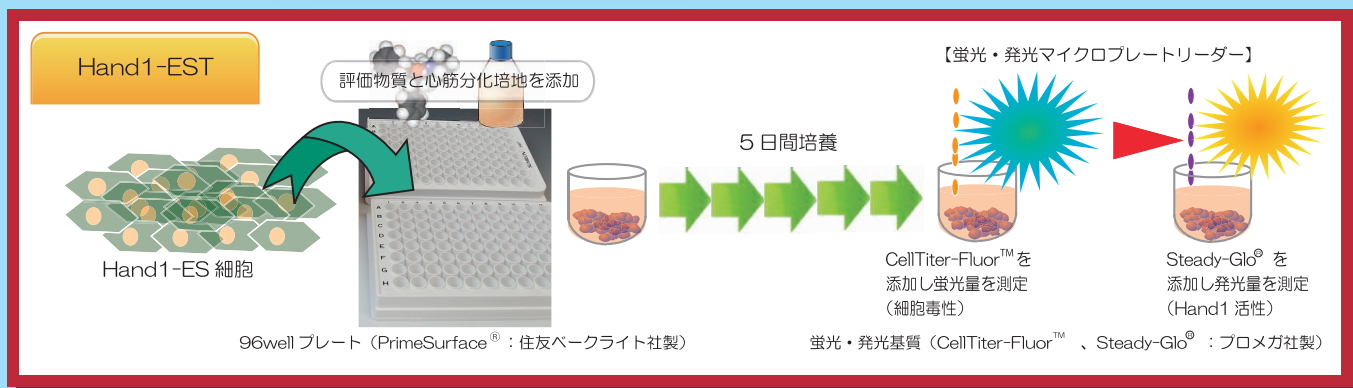
- ✓ 蛍光・発光法による定量的な毒性評価が可能
- ✓ 従来のEST (Embryonic Stem Cell Test) 試験と比較し簡便
- ✓ 化合物のスクリーニング試験に最適

【キット構成】

- Hand1-ES 細胞 (1 vial)
- 未分化維持培地 (30mL×1)
- 心筋分化培地 (200mL×1)
- 解析ソフト

※写真のホワイトプレートはキットに含まれません。

項目	EST 法 (Original)	Hand1-EST
試験日数	10 日間	5 日間
分化評価	拍動 (目視)	Luciferase 活性
必要化合物	500mg 以上	5 ~ 50mg
測定装置	顕微鏡	蛍光・発光リーダー
処理能力	低	高



●本キットご使用に関しましては別途ライセンス契約が必要です。詳細につきましてはお問い合わせください。
 ●本キット中の Hand1-ES 細胞のご使用に際し Promega 社のライセンスプログラムをご確認頂く必要があります。ライセンスプログラムに関しては www.promega.co.jp/license/ をご覧ください。

細胞、組織、微生物株、培養試薬、研究用試薬等を取り扱っております。



株式会社 ケーエーシー

<お問い合わせ先>
 TEL:06-6435-9747 FAX:06-6435-9748
 E-mail: shiyaku-info@kacnet.co.jp

会社HP: <http://www.kacnet.co.jp/>
 細胞検索サイト「細胞.jp」: <http://www.saibou.jp/>

細胞.jp 製品の在庫・価格等を検索可能!

一般社団法人 日本毒性学会

[名誉会員]

今道 友則	堀口 俊一	福田 英臣	池田 正之
加藤 隆一	白須 泰彦	黒岩 幸雄	井村 伸正
佐藤 哲男	渡辺 民朗	高橋 道人	榎本 眞
小野寺 威	遠藤 仁	菅野 盛夫	黒川 雄二
鎌滝 哲也	赤堀 文昭	土井 邦雄	長尾 拓
福島 昭治	津田 修治	吉田 武美	堀井 郁夫
大野 泰雄	上野 光一	山添 康	

[功労会員]

高仲 正	前川 昭彦	佐藤 温重	安田 峯生
菊池 康基	田中 悟	大沢 基保	今井 清
降矢 強	玄番 宗一	唐木 英明	仮家 公夫
暮部 勝	野村 護	牧 栄二	三森 国敏
佐神 文郎	遠山 千春	小野寺博志	杉本 哲朗
西田 信之			

[賛助会員]

(五十音順)

●ダイヤモンド

(株)新日本科学

●ゴールド

旭化成ファーマ(株)	あすか製薬(株)
アステラス製薬(株)	(株)安評センター
EAファーマ(株)	(株)イナリサーチ
エーザイ(株)	(株)LSIメディアエンス
大塚製薬(株)	小野薬品工業(株)
花王(株)	一般財団法人化学物質評価研究機構
杏林製薬(株)	協和キリン(株)
興和(株)	三栄源エフ・エフ・アイ(株)
(株)三和化学研究所	塩野義製薬(株)
(株)資生堂	シミックファーマサイエンス(株)
昭和電工(株)	住友化学(株)
(一財)生物科学安全研究所	ゼリア新薬工業(株)
千寿製薬(株)	第一三共(株)
大正製薬(株)	大日本住友製薬(株)
大鵬薬品工業(株)	武田薬品工業(株)
田辺三菱製薬(株)	中外製薬(株)
帝人ファーマ(株)	(株)DIMS 医科学研究所
トーアエイヨー(株)	東レ(株)
(一社)日本化学工業協会	日本香料工業会
日本新薬(株)	ファイザー(株)
富士フイルム(株)	(株)ボゾリサーチセンター
Meiji Seika ファルマ(株)	持田製薬(株)
(株)薬物安全性試験センター	ライオン(株)

[役員] (2018 ~ 2019 年度)

理事長	熊谷 嘉人	小川久美子	小椋 康光
理事	青木 豊彦	菅野 純	北嶋 聡
	鍛冶 利幸	鈴木 睦	高崎 涉
	小林 章男	苗代 一郎	永沼 章
	角崎 英志	福井 英夫	藤原 泰之
	広瀬 明彦	宮脇 出	山田 久陽
	三浦 伸彦		
	吉成 浩一		
監事	中村 和市		
	姫野誠一郎		

[学術年会長]

第46回 (2019年) 姫野誠一郎
 第47回 (2020年) 広瀬 明彦
 第48回 (2021年) 福井 英夫
 第49回 (2022年) 石塚真由美

[委員会] (2018 ~ 2019 年度)

●総務委員会

◆連携小委員会

◆評議員選考小委員会

◆名誉会員および功労会員選考小委員会

◆指針値検討小委員会

●財務委員会

●編集委員会

◆JTS 編集委員会

◆FTS 編集委員会

◆Executive Editor 小委員会

◆田邊賞選考小委員会

●教育委員会

◆生涯教育小委員会

◆基礎講習会小委員会

◆認定試験小委員会

●学術広報委員会

◆学会賞等選考小委員会

◆特別賞等選考小委員会

◆技術賞選考小委員会

◆日化協 LRI 賞選考小委員会

◆学術小委員会

◆広報小委員会

★その他関連の委員会

- IUTOX President
- ASIATOX 担当

●印：常置委員会 ◆印：小委員会

広瀬 明彦	(委員長)		
青木 豊彦	小椋 康光	鍛冶 利幸	
熊谷 嘉人	鈴木 睦	永沼 章	
菅野 純	(委員長)		
小川久美子	北嶋 聡	中村 和市	
広瀬 明彦	山田 久陽		
佐藤 雅彦	(委員長)		
小林 章男	苗代 一郎	藤原 泰之	
三浦 伸彦			
広瀬 明彦	(委員長)		
(委員非公開)			
広瀬 明彦	(委員長)		
市原 学	北嶋 聡	渋谷 淳	
古川 賢	三島 雅之		
青木 豊彦	(委員長)		
小川久美子	福井 英夫	藤原 泰之	
鍛冶 利幸	(委員長)		
古武 弥一郎	(副委員長)		
青木 康展	阿部(富澤)香織	有蘭 幸司	
石井 祐次	市原 学	佐藤 雅彦	
渋谷 淳	新開 泰弘	神野 透人	
鈴木 雅実	角 大悟	曾根 秀子	
立花 研	中川 一平	中西 剛	
永沼 章	中村 和市	沼澤 聡	
根本 清光	黄 基旭	福島 民雄	
藤原 泰之	三浦 伸彦	務台 衛	
山田 久陽	山手 丈至	山本 千夏	
吉成 浩一	鰐淵 英機		
鍛冶 利幸	(委員長)		
永沼 章	(委員長)		
永沼 章	(委員長)		
中川 一平	(副委員長以下非公開)		
鈴木 睦	(委員長)		
高崎 涉	古川 賢		
鈴木 睦	(委員長)		
五十嵐勝秀	石塚真由美	於勢 佳子	
真田 尚和	姫野誠一郎	堀 妃佐子	
養澤 克彦			
高崎 涉	(委員長)		
橋本 清弘	(副委員長)		
朝倉 省二	大塚 まき	小野寺博志	
古川 賢	堀 妃佐子	和久井 信	
古川 賢	(委員長)		
(副委員長以下非公開)			
小椋 康光	(委員長)		
永沼 章	(委員長)		
(委員非公開)			
小椋 康光	(委員長)		
(委員非公開)			
清水 俊敦	(委員長)		
(委員非公開)			
北嶋 聡	(委員長)		
(委員非公開)			
山田 久陽	(委員長)		
天野 幸紀	石塚真由美	高崎 涉	
高橋 祐次	藤原 泰之	吉成 浩一	
久田 茂	(委員長)		
児玉 晃孝	(副委員長)		
橋本 愛			
菅野 純			
佐藤 雅彦			

2019年 12月1日 印刷

2019年 12月1日 発行

発行人 熊谷 嘉人

編集人 鍛冶 利幸

発行所 一般社団法人日本毒性学会

学会事務局 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1

パレスサイドビル

(株)毎日学術フォーラム

一般社団法人日本毒性学会事務局

TEL (03) 6267-4550 FAX (03) 6267-4555

E-mail : jsothq@jsot.jp

振替 00150-9-426831

<http://www.jsot.jp>

印刷所 株式会社仙台共同印刷

〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町二丁目4-2

TEL (022) 236-7161